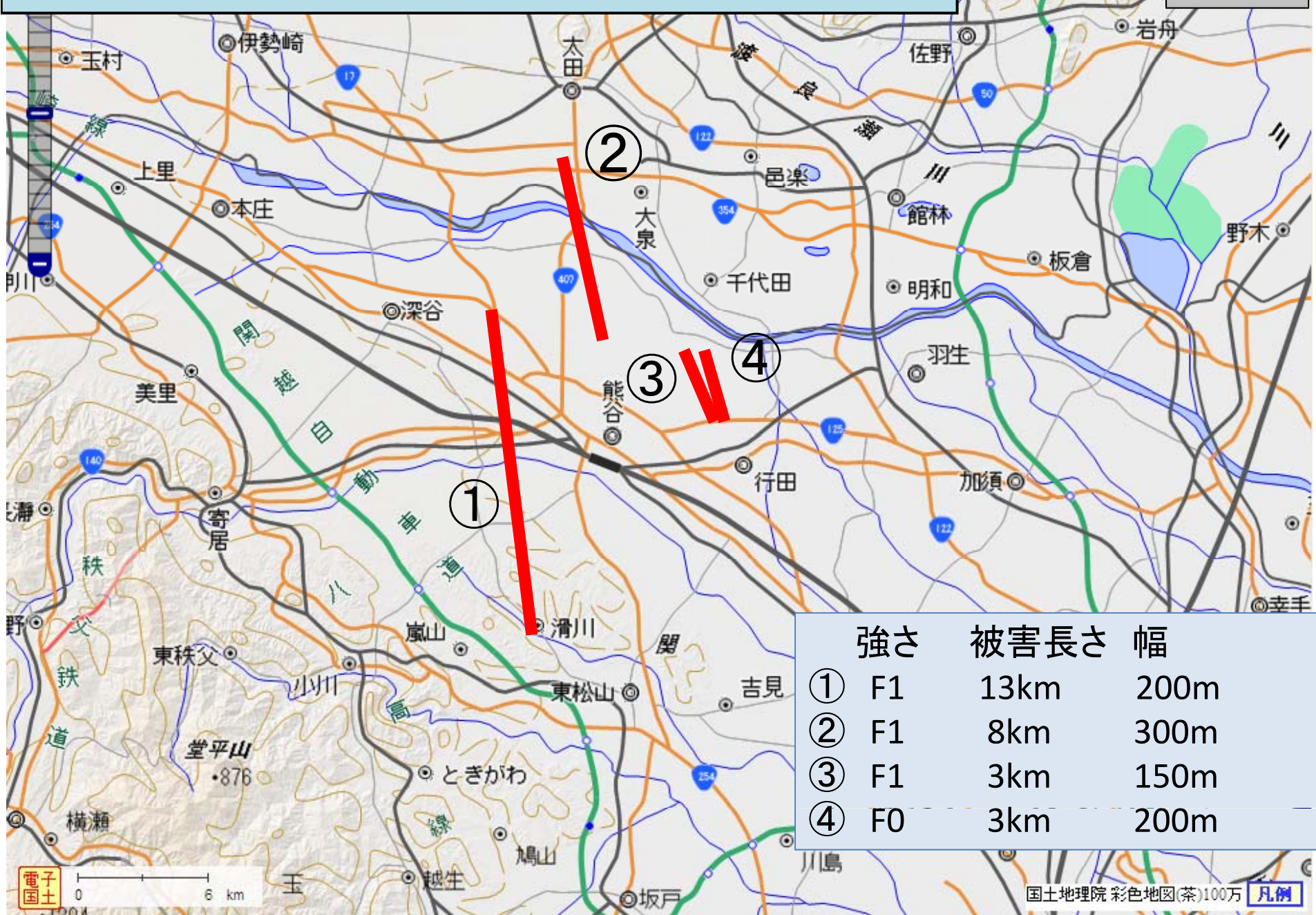


台風第18号に伴い発生した竜巻等突風(2013年9月15日~16日)



埼玉県熊谷市、行田市、比企郡滑川町、群馬県太田市の竜巻の被害域等

分布図



電子国土
0 6 km

国土地理院 彩色地図(茶)100万 凡例

台風第18号に伴い発生した竜巻等突風(2013年9月15日～16日)の調査結果

発生場所	発生日時	現象区別	藤田スケール	被害幅 [m]	被害長さ [km]
和歌山県東牟婁郡串本町	9月15日14時30分頃	竜巻	F1	100	9
	9月15日17時10分頃	竜巻	F1	200	0.6
	9月15日18時05分頃	竜巻	F1	130	0.5
三重県志摩市	9月15日21時10分頃	竜巻	F0	60	0.3
栃木県那須郡那須町	9月15日22時30分頃	竜巻	F0	150	2
埼玉県熊谷市・行田市・比企郡滑川町 群馬県太田市	9月16日01時30分頃 (①)	竜巻	F1	200	13
	9月16日02時00分頃 (②)	竜巻	F1	300	8
	9月16日02時30分頃 (③)	竜巻	F1	250	3
	9月16日02時40分頃 (④)	竜巻	F0	200	3
群馬県みどり市・桐生市	9月16日02時20分頃	竜巻	F1	200	5
宮城県石巻市	9月16日15時00分頃	竜巻	F1	200	1.1
北海道厚岸郡厚岸町	9月16日18時30分頃	ダウンバースト	F1	1600	3.9

参考(藤田スケールと風速等の対応)

スケール	風速	被害
F0	17～32m/s	テレビアンテナなどの弱い構造物が倒れる。小枝が折れ、根の浅い木が傾くことがある。非住家が壊れるかもしれない。
F1	33～49m/s	屋根瓦が飛び、ガラス窓が割れる。 ビニールハウスの被害甚大。根の弱い木は倒れ、強い木は幹が折れたりする。走っている自動車が横風を受けると、道から吹き落とされる。
F2	50～69m/s	住家の屋根がはぎとられ、弱い非住家は倒壊する。大木が倒れたり、ねじ切られる。自動車が道から吹き飛ばされ、汽車が脱線することがある。
F3	70～92m/s	壁が押し倒され住家が倒壊する。非住家はバラバラになって飛散し、鉄骨づくりでもつぶれる。汽車は転覆し、自動車はもち上げられて飛ばされる。森林の大木でも、大半折れるか倒れるかし、引き抜かれることもある。
F4	93～116m/s	住家がバラバラになって辺りに飛散し、弱い非住家は跡形なく吹き飛ばされてしまう。鉄骨づくりでもペシャンコ。列車が吹き飛ばされ、自動車は何十メートルも空中飛行する。1トン以上ある物体が降ってきて、危険この上もない。
F5	117～142m/s	住家は跡形もなく吹き飛ばされるし、立木の皮がはぎとられてしまったりする。自動車、列車などがもち上げられて飛行し、とんでもないところまで飛ばされる。数トンもある物体がどこからともなく降ってくる。

Fスケール(藤田スケール)とは、竜巻やダウンバースト等の風速を、構造物などの被害調査から簡便に推定するために、シカゴ大学の藤田哲也博士により1971年に考案された風速のスケール。